

緊急学習会

「福祉・介護職員処遇改善の補助金・交付金」と 「2022年10月臨時報酬改定」をどう見るか？

オンライン&会場 ※会場は定員 20 名となります。

いい介護をするために！
介護職員を増やすために！
制度をどう変えればいいのか、皆さんと一緒に
考えたいと思います。

岸田内閣は、「看護・介護・福祉・保育」などケアの第一線で働く人びとの賃金を引き上げるとして、補正予算で介護・福祉職員などの「賃金改善」の措置を行いました。

しかし、その水準はわずか「3%（月 9,000 円、）相当」と低額で、対象職種の限定されたものです。さらに2022年10月以降は介護報酬等で措置される方向で利用者負担と介護保険料負担増を招くこととなります。

介護では人手不足が深刻で、介護崩壊の危機さえ言われています。看護・介護・福祉・保育などケアに関わる第一線ではここ2年近く「コロナ危機」の中で献身的な頑張りで見守り、利用者・患者さんの命と暮らしを支えてきました。

人手不足解消のためには、わずか9000円で終わらせず、①ケアに関わる全職種対象に ②全産業平均水準以上の賃金改善を ③全額国庫負担で行わせるべきです。



内容

- ・介護労働者の賃金改善めぐる動き～補正予算と賃金改善策の何が問題か？
- ・現場からの発言
- ・行動提起：何をすべきか

主催

大阪民主医療機関連合会
大阪社会保障推進協議会

2022年2月9日（水） 18:30～20:30（18:00～入室可能）

問合せ先：大阪民医連内 じみち 亮 Tel.06-6268-3970(代) メール：jimichi@oskmin.com
オンライン情報 Zoom（ウェビナー）

ミーティング ID: 870 3665 9902 パスコード: 861615

申し込みは、右記のQRコードをGoogleホームにて入力をお願いいたします。1/22（土）締め切り

